

# TA 愛らんど TA

四国支部 HP



No.60号

2024.11.25 発行



発行 特定非営利活動法人 日本交流分析協会 四国支部  
住所 〒790-0012 愛媛県松山市湊町8丁目111番地1 愛健ビル3F  
TEL/FAX 089-931-5570  
mail info@ta-shikoku.com  
URL <https://www.ta-shikoku.com/>  
発行責任者 日本交流分析協会 四国支部支部長 山本寿美江

## No60号 巻頭言

さあ！来年の全国年次大会は四国（松山）です。

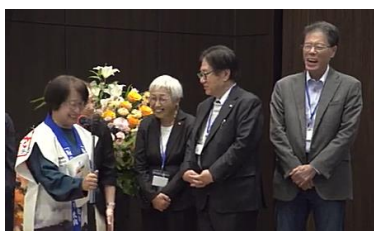
四国支部支部長 山本寿美江

肌を刺す暑さからようやく解放され、短い秋が来たかと思うと一気に冬の気配となりました。東北支部での全国大会も大盛況の内に終わりました。会場には四国支部コーナーを設けて下さっていて、そこで来年の松山会場周辺マップや公式LINEのQRカード等を配布、早速の登録も頂きました。そして大会最後のバトンリレーでは、東北支部手作りの応援横断幕が掲げられ、愛と勇気の詰まった大会準備目録を頂きました。四国支部が一番小さな支部ではありますが、これから皆様と学びとおもてなしの準備を開始したいと思います。

全国大会の順番が決まったこの10年の間にコロナがあり震災があり、世の中も人の動きも随分と様変わりをしてきました。順番とはいえ、このタイミングでの大会を引き受けるにあたり、大きな迷いと不安が頭をよぎったのは事実です。一度、四国支部運営委員会に持ち帰り検討して「今なら手伝える」という志のもと、引き受ける事を決断しました。

全国からのお迎えは、会員皆様一人一人の力を必要とします。現在、日程とテーマが決まり、分科会案を組み立てていく作業をしています。大会の屋台骨が出来上がると、細部に渡る詰めの作業となりますが、ここから実行委員を立ち上げワーキングチーム単位での動きができるよう流れを作っていきます。詳細につきましては、理事会への報告後支部の皆様にお知らせしたいと思います。当日お手伝い可能な方、元祖おもてなし隊にご参加可能な方、是非お手を挙げて下さい。

そして支部では秋講座がスタートしています。今講座より指導会員による講座をスタートしました。四国支部の指導会員の皆様、交流分析での皆様の学びや気づきを次代へ繋げましょう。「いま、ここ」をお伝え頂ければと思います。どなたでもご参加頂けます！学びの秋を是非深めましょう。



1. グリーニング以外のスタッフジャンパー  
2. 方向自在の縦断幕  
3. 旗  
4. 立派な年次大会の旗  
5. 会場での旗行ニギハヤヒ  
6. 年次大会の「おまかせ」メニュー

\* 数日まとめて観たいです。



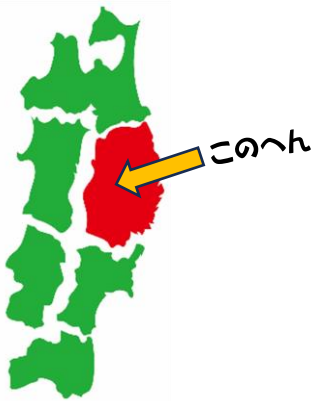
第48回(2025年)全国年次大会 in

## 第48回全国年次大会in四国

日時：2025年10月11日（土）12日（日）  
※時間は調整中です

会場：松山市総合コミュニティセンター





## 第 47 回全国年次大会 in 盛岡に参加して

交流分析士教授 田中朋子（愛媛）

2024年10月12日 人生初の盛岡です。これも人生初の東北新幹線に山本支部長と乗り合わせ、珍道中の始まりでした。盛岡では名所の赤レンガ（旧岩手銀行）の建物を見て、さあ、これからホテルへと向かう途中で見つけた大会会場にて、一足早く東北支部の方々にお会いすることができました。四国からということで、皆さんから熱烈大歓迎を受け、なんとそのまま前夜祭に合流させて頂きました、翌日も受付から細やかなご配慮を頂きました。そして、次年度の年次大会は四国支部ということで「四国支部コーナー」を設置し、観光案内や日程お知らせカードを参加された方々にお渡しいたしました。

四国支部のコーナーは受付の横に設置されていたので、東北支部の方々の運営のご様子を垣間見ることができました。

そこに「コ・クリエイティブ交流分析」を正に観た思いがありました。何かの目的に向かってみんなで協力していく、その姿は美しく神々しいまでのものです。

来年は、四国支部でこのような体験ができる！と期待がよぎります。どうか、皆様よろしくお願い致します。皆さんのご意見を持ち寄り、さらに前進していきましょう！



# 2015年年次大会おもいで エピソード

あの時、みんな若かった〜♪

全国の会員の方をお迎えするため、四国ならではのおもてなしをしたいと思います。各県庁の観光課からポスターをいただき、「自然」と「祭り」の雰囲気はバッチリ！。そして会場のコムズ、主会場は5階。階段を利用される方に、ミニ歩き遍路の体験をと「四国八十八ヶ所霊場」の札所番号、お寺の名称を順番に書いて貼りました。

ところが当日の朝、これが無残な姿で剥がれ落ちていました。各階段を汗だくになって貼り直しましたね。宮本さん、野上さん、あの時は一緒に直してくれてありがとうございました。おかげで最初に意図したように、ところどころ立ち止まって話していらっしゃる方も見受けられ安堵したことです

全国大会も年々変わってきて、ZOOM やハイブリッド開催も増えています。会えることも少なくなってきましたが、力を合わせて頑張りましょう！

交流分析士インストラクター 梅原 玲子 (高知)



松木邦裕先生の「精神分析から学ぶ自分らしく生きること：知ること、ネガティブケイパビリティ、セレンディピティ」を受講して (※2024年11月4日開講：ハイブリッド開催)

交流分析士インストラクター 村越 章裕 (神奈川)



ネガティブケイパビリティとは、自分の考えや知識、経験にあてはめわかったことにせず、結論を自分の望む方向に導こうとしない構え方だということがわかりました。

人の話を聞いたとき、自分の価値基準を当てはめて評価して、すぐに結論を出している自分を見つけることがあります。わからないことをしばらくそのままにしてみてもちこたえる心の力は大事だと思います。意識しないでいると自分中心の考え方を持って人を批判したり、受け入れなかったりする日常を思い浮かべます。カウンセラーの資格を取って電話相談をしている私にとって相談者とのやり取りの中で、自分自身の心の状況に気がつく瞬間があります。わからないことを暫くそのままにしておくというネガティブケイパビリティを相談業務で試してみたいと思います。

講座終了後、松木邦裕先生より



「会が温かく穏やかに進行しましたことが素晴らしいと思います。ハイブリッドでなかなか準備は大変だったと思いました。皆様によろしくお伝えください」



## 気になる子どもの理解と支援

—発達障がい基礎知識や問題行動、問題行動の対処、支援の方法—

講師：鈴木正樹先生

### 受講感想

#### ●学習や注意集中の苦手から考える

この研修で始めに不登校の多さや自殺者の増加の実態を知りました。子どもたちの少子化が進む中で  
の推移に驚きました。LD や AD などの特徴を学び注意欠陥多動性障害の児童の投薬服用後の文字の違  
いや解き方は興味深かったです。こんな風に見えて行動しているんだ、勉強しているのだと考えると、  
一人ひとり気になる子の特徴や特性を見極め子どもを理解する上でのチェックリストを使用し保育に  
あたりたいと改めて感じました。個別に最適な方法を見つけるカスタマイズとはわかりやすかったで  
す。私たちの保育の現場では、多様性と言われているこの時代に初めて保護者から離れて社会生活を送  
る場として難しさを感じています。見極めや子ども・保護者支援、今回のお話にいきつくまでの関わり  
について聞きたかったです。答えは一つではなく状態状況によって変化するものなので日々の評価反省  
は心がけていきたいと感じました。



天野めぐみ（愛媛）



#### ●平等から公平へ、公平から工夫へ

現在の子どもの数は減少しているのに支援が必要な子どもの数が増えているのは、これまでに発達上  
の障害と認められず、わがままだとか聞いていないとか落ち着きがないとか否定的に捉えられることが  
多かった。発達障害の子どもを支援していくためには、多様な障害の特性に応じた対応が必要で、ひと  
りひとりに合わせた指導が必要であることを理解し、ひとりひとりの特性を見抜く力をつけなければなら  
ないと思う。また、リフレーミングの視点で障害を捉えることによって、弱みが強みに短所が長所にな  
ることを知った。コップ半分の水を、半分しかないか捉えるのか半分あると捉えるのか。大きさの違  
うコップに入れ替えることで、どの子どももコップいっぱいに満たされた状態に成り得るのではない  
か。平等から公平へ、公平から工夫へと、支援する側が気づき考え変えていかなければならないことを  
学び、普段の保育の時間にも注意深く見ていきたいと思う。

岡本 真由美（愛媛）



### 合格おめでとうコーナー

「教える」ことで気づかされる」

交流分析士インストラクター 森野真美子（愛媛）

自分の今の仕事である子ども達への発達支援のために心理学を学びたいと思い、学び始めた交流分析  
でした。まさか、自分がインストラクター講座を受けて合格するとは、思いもよらぬことでした。  
いろいろな先生方とご縁があり、最後まで行くことができました。

インストラクター講座を受けるにあたって驚いたことは、一つの単元を教えるために、いかに  
周辺理論を必要とし、内容を深く理解しなければならないかと言うことです。理論を座学で  
学ぶだけでは分からないことが、『教える』ということで、気づかされることが多くありました。  
今後は、機会があれば他の単元でも、インストラクションの力をつけていこうと思います。  
インストラクター合格にあたって、多くの先生方にご配慮いただき、深謝申し上げます。



## 「ため息」



## じゅんぺーコーナー

ひろおかじゅんこ

「はぁ～」とため息をつく。



近頃思うようにいかず、何とかしようともがいている時間が増え、気づけば「はぁ～」とため息をついている。「幸せが逃げちゃう?!」と思ったりしたけれど・・・実は気持ちの切替えをするのにとっても役立っていることに気付いた。ため息で大きく息を吐くと、心や体に溜まっていた言葉に出来ない思いや緊張した気持ち(ネガティブ)と一緒に吐き出されて、心と体が少～し緩んでくる。それと同時にエネルギーが戻ってきて「よし…」という言葉と共に前向きな気持ちが出て来て「やるか…！」(ポジティブ)が出てくる。ので、ため息も悪くないのであ～る。



交流分析士インストラクター 弘岡順子 (愛媛)

## ここが ICHIBAN!!

ここが ICHIBAN!! は四国四県のお国自慢コーナー。

場所・食べ物・名所名跡、会員の皆さんの ICHIBAN ポイント等、楽しめるオススメ情報をお寄せ下さい!!

各県、地域でのグループ活動の情報も掲載していきます。

四国支部まで

是非情報をお寄せください!

## こうち発

交流分析士インストラクター 廣地禄代

高知はひろめ市場や桂浜だけじゃありません。大ジョッキを持った酒豪しかいない、というわけでもない(県外の方がそう思うなら豪快に見せておこう、とする高知ケンミンのおもてなし精神デス)。そうではなく、素の高知。ナチュラルでホッとできて、ふむ・・・と頷く、そして普通の旅行雑誌には載っていない「一期一会な高知」を、ちょっと見たい、知りたい、なんて思いませんか? 見れます!それも今、すぐに。

HP「[OIRAの土佐日記](#)」には、高知の「大事にしたい原風景」が沢山ちりばめられています。四国88か所巡りで「修行の道場」と言われる、高知のお寺をいくつも歩いた詳細な案内や、高知県東部の海岸線を走る「ごめんなはり線」の話・・・。緻密に取材をしたのがよくわかる臨場感あふれる沢山の写真、語りかけるような文章で綴られるブログは、私の中では2級講座を教えて頂いた時の熱心な様子を思い出させる臨場感で、つまりは「行った気になる画面旅行」そのものです。

僕のドライバー「完全であれ」が見え隠れしてるでしょと照れ笑いをする、高知の会員竹村聡さんのHPです。さあどうぞ、今すぐ高知へ。画面旅行の後は、気になる高知のその場所へ、ぜひ実際に足を運んでください。

OIRAの土佐日記



NEW

## 四国支部 インストラクター講師シリーズ勉強会

「私のTAへの道、そして今」(副題は、演者が決めます)

一時間半の持ち時間内で、交流分析の学びを通じて「今」の姿を伝えていきます。聴講だけでなく、自らのインストラクション向上にも、ぜひお役立てください！(日程等は別紙セミナー予定表を参照ください)

## 御寄付について

四国支部では、研修や交流分析の周辺学習として広く外部講師の先生による講座を設け、講座の質の向上やハイブリット導入などの機器の充実を図っております。また、社会貢献事業として会員内外から興味のある方が自由に参加できるよう計画しております。つきましては、それら支部活動にご賛同頂ける個人の方、グループ、企業の方から広く御寄付をお願いしたいと存じます。

↓寄付の振込口座はこちら

寄付振込先

伊予銀行本店

普通、4855985

特定非営利活動法人交流分析協会四国支部



## 四国支部の公式LINEができました！

パソコンで登録される方はこちら

→ <https://lin.ee/FR8NCHr>



1か月に2回  
講座情報などを  
お知らせしています  
登録をお願いいたします



★絶賛★

YouTube 配信中

## 大嶋完二の「お悩み解消日記」

<https://www.youtube.com/@sokura-tetsu/featured>



「困ったときには  
思い出してください  
困ってないときは  
忘れてください」

## 編集後記

あっという間に2024年も終盤、世の中の流れや勢いが昔に比べて本当に早くなったと感じます。それらに置いていかれないように頑張らないと！でもそれって誰に、何に焦点を当てて「置いていかれないよう」にしたいの？ワタシ。なーんて脳内堂々巡りをして「今のワタシ探し」する晩秋の候、です。(廣地)

10月からの郵便の値上がりとともに、今後、**郵送での会報発送を止め、メール、またはWebでの閲覧に変更**していきます。会報は、公式LINEのお知らせから、ホームページを介して閲覧可能です。

★会報バックナンバーも読めます。  
ぜひ登録を。